

勝海舟記念館開館5周年記念特別展

第2回収蔵資料展

守り伝える海舟の

歴史遺産



2024年7月12日(金)～11月10日(日)

大田区立 勝海舟記念館

Ota City Katsu Kaishu Memorial Museum

- 開館時間 午前10時～午後6時
※月曜(祝日の場合は翌日)、及び9月9日(月)・10日(火)は展示替えのため休館
- 入館料 一般300円、小中学生100円(各種割引有り)
- 所在地 東京都大田区南千束2-3-1
- 電話 03-6425-7608

※最新の情報は、区ホームページをご覧ください。



海舟だより 第21号

勝海舟記念館開館5周年記念特別展 第2回収蔵資料展

守り伝える海舟の歴史遺産

2024年7月12日(金)～11月10日(日) ※9月9日、10日は一部展示入替のため休館

2024年9月7日、勝海舟記念館は開館5周年を迎えます。開館以来、多くの方々から頂いたご寄附を活用し、資料の収集、修復、公開を行い、海舟の功績や想い、家族や周囲の人物たちとの関わりなどを勝海舟が眠るこの洗足池でお伝えしてきました。当館のコレクションは、かつて海舟が旧蔵していた文書資料や美術品、さらにはその後の人々が受け継いできた品々と多岐にわたります。その一つ一つが海舟や、人々の動向や思考、時代の様相等を明らかにする重要なピースです。

本展では、これまでの調査研究や修復の過程で新たに興味深い内容が見出された未公開資料を展覧します。あわせて、開館5周年を記念し、文書と絵画の修復方法をご紹介します館内パネル展示を開催します。150年以上も昔の品々を受け継ぎ、未来へと繋げる取り組みとその意義を感じて頂けたら幸いです。

新出！海舟の勉強ノート



勝麟太郎ノート(安政年間)

海舟は安政2(1855)～6年、幕府の命令により長崎海軍伝習所に派遣され、算術、蒸気、造船など海軍に必要な15科目以上の教科を学びました。本展では要塞術や築城方法を記した海舟直筆のノートを初公開します。

海舟の師・小楠の姿



原田直次郎作 横井小楠肖像画
(明治24年頃)

熊本の出身で、福井藩の政治顧問を務めた横井小楠の肖像画。クリーニングで往時の鮮明な姿が蘇りました。海舟は幕末、しばしば小楠に意見を伺い、後に西郷隆盛と双壁をなす人物として名を挙げています。

教え子の状況を伝える手紙



<勝海舟宛>中里謙三書状 部分
(元治元年12月6日付)

※展示では、このほかの部分もご覧いただけます。

神戸海軍操練所の閉鎖後、海舟が寄合に左遷されていた時、海舟の用人・中里謙三から送られた手紙。元操練所の生徒らの動向が記されており、中でも生徒の一人、土佐藩士・望月亀弥太が「壬生浪人(新選組)」に殺害された「池田屋事件」(元治元年6月)の記述がある点に注目です。

Information

ギャラリートークのお知らせ

本展の見どころを当館学芸員が解説します。

【日時】

2024年8月17日(土)、10月20日(日)

14時から約45分程度

【募集人数】

各回10名程度(先着)

*参加には入館券が必要です。

*定員に達し次第、受付を終了します。

当館窓口、電話、FAX等でお申し込み下さい。

電話 6425-7608 FAX 6425-7610

特報！開館5周年記念講演会のお知らせ

特別展に出陳する「横井小楠肖像画」等の修復に携わった絵画修復家から、当館の絵画資料の魅力と歴史的価値等の様々なお話をうかがえます。

「海舟ゆかりの絵画たち ～その魅力と保全の意義～」

【日時】 2024年9月7日(土) 14～16時(開場13時30分)

【会場】 大田区消費者生活センター 大集会室

【講師】 村松裕美氏(絵画修復家)、当館学芸員

【人数】 先着60名(事前予約制) 【会費】 無料

【申込】 7月1日(月)から募集開始(方法等、詳細は当館ホームページからご覧ください)。定員に達し次第、受付を終了します。



詳細はこちら